

令和元年12月2日

関東経済産業局、関東地方整備局、中小企業基盤整備機構関東本部は連携を強化し、新たなイノベーション創出に向け、国民の生活・安全を守る防災・災害対応、復興分野をはじめ、幅広い分野において、中堅・中小企業が有する革新的技術の活用を促進します。

関東経済産業局（以下、関東経済局）、関東地方整備局（以下、関東整備局）、中小企業基盤整備機構関東本部（以下、中小機構関東本部）は、連携を強化し、オープンイノベーションを通じて、従来の枠組みを超えた組織間連携を創出し、防災・災害対応、復興分野をはじめ幅広い分野において、中堅・中小企業が有する革新的な技術（AI、IoT、ロボット等）の現場実装を図る取組を促進します。

1. 背景・経緯

本年5月31日、関東経済局と関東整備局は、組織的・継続的な協力を図るため、両局局長級の意見交換を行い、建設産業の振興や災害対応、防災等の個別プロジェクトで連携していくことを確認しました。

関東経済局では、中小機構関東本部と共同で運営する「オープンイノベーション・マッチングスクエア（以下、OIMSと表記、中小機構のウェブマッチングサイト ジェグテック内）」を活用して、多くの中堅・中小企業がオープンイノベーションを通じて、新たな付加価値の創出による「稼ぐ力」の向上に向け支援しています。

また、関東整備局では、企業間連携”X-Tech.”（クロステクノロジー）を実装するため、革新的技術（AI、IoT、ロボット等）を建設現場に取り入れることを目的として、新技術導入に向けた「現場ニーズと技術シーズのマッチング」に取り組んでいます。

こうした取組を、より一層効果的に推進していくため、関東経済局と関東整備局、中小機構関東本部は、早急に取り組むべき課題として、まずは、防災・災害対応、復興分野において、中堅・中小企業が有する革新的な技術（AI、IoT、ロボット等）の現場実装を促進するため連携強化を図ることとしました。

2. 具体的な取り組み

（1）中堅・中小企業が有する革新技術の現場実証の機会を提供します。

関東整備局の国道・河川事務所等が有する防災・災害対応、復興分野に関する開発ニーズに対して、OIMSによるマッチング機能を活用することで、

各事務所と全国の革新的な技術（AI、IoT、ロボット等）を有する中堅・中小企業のマッチングを図り、有望提案には現場での実証機会の提供等を行います。実証に至らない提案についてはユーザー目線からの改良点等の助言を行います。

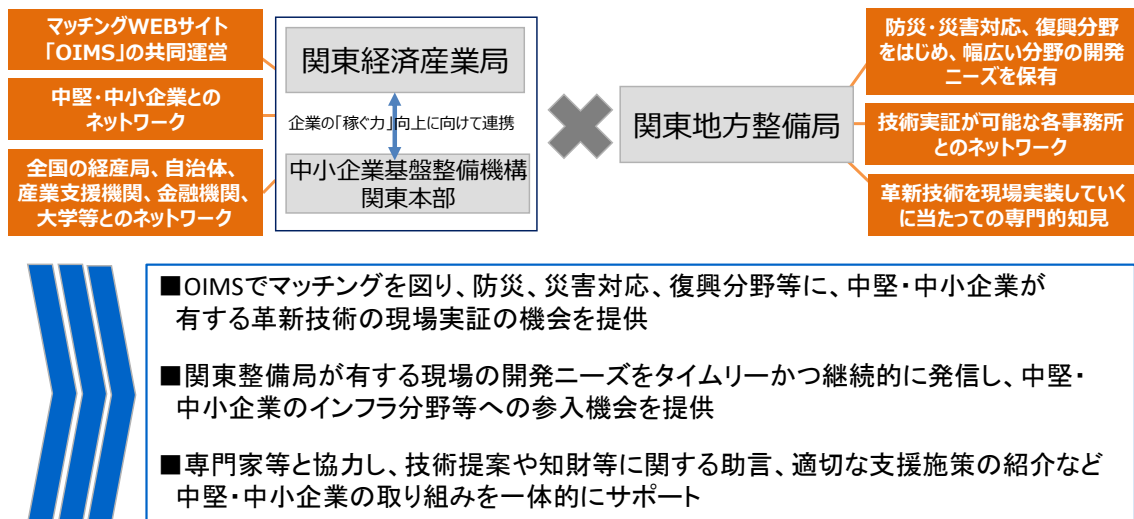
（２） 関東整備局が有する現場の開発ニーズを継続的に発信します。

今後、関東整備局は、防災・災害対応、復興分野に限らず、インフラ整備において、現場から寄せられた技術的課題等についても、スピード感を持って現場実装への検討が進められるよう、タイムリーかつ継続的にOIMSにおける開発ニーズの発信を行い、マッチングを進めます。

（３） コーディネーターや専門家と協力的なサポートを行います。

関東経済局と中小機構関東本部は、中堅・中小企業が有する革新的技術が防災・災害対応、復興分野で活かされるよう、専門家と協力しながら、技術提案や知財等に関する助言を行うとともに、適切な支援施策を案内する等、ウェブとリアル両面から中堅・中小企業の取組をサポートします。

<連携体制のイメージ図>



< 関東整備局が有する現場の開発ニーズ一覧 (OIMS 掲載) >

No	分野	テーマ	所管事務所
1	防災・災害対応	災害時における現場映像・データ通信等システム	荒川下流河川事務所
2	防災・災害対応	ダム放流時安全確認支援技術	相模川水系広域ダム管理事務所
3	防災・災害対応	暴風雨・夜間時のダム放流警報伝達技術	利根川ダム統合管理事務所
4	防災・災害対応	全球測位衛星システム等を用いた洪水観測システムの開発	荒川上流河川事務所
5	防災・災害対応	夜間流量観測精度向上技術	常陸河川国道事務所
6	防災・災害対応	出水時における河動内発生時の被災観測技術	下館河川事務所
7	防災・災害対応	集中豪雨状況等のSNS等展開技術	大宮国道事務所
8	防災・災害対応	冠水等の情報検知技術	大宮国道事務所
9	防災・災害対応	降雨時法面影響カメラ認識技術	常総国道事務所
10	防災・災害対応	河川樹木繁茂面積測定技術	甲府河川国道事務所
11	防災・災害対応	着雪防止遮音壁面の表面処理	大宮国道事務所
12	防災・災害対応	災害発生直後の車両通行可否判断システム	大宮国道事務所
13	復興等	大雨後の海底トンネルの路肩清掃ロボットの開発	川崎国道事務所
14	復興等	堤防法面等変状観測技術	利根川上流河川事務所
15	復興等	機械設備の状態監視データ取得技術	関東技術事務所
16	復興等	水門、樋管等の構造物ひび割れ調査技術	甲府河川国道事務所
17	復興等	過積載自動感知装置	北首都国道事務所

3. 関連情報

- ・「オープンイノベーション・マッチングスクエア (OIMS)」について (ジェグテックサイトへ)

<https://jgoodtech2.smrj.go.jp/lp/oi-matchingsquare>

- ・ジェグテックについて (中小機構関東本部 HP へ)

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/kanto/sme/jgoodtech/index.html

- ・現場ニーズと技術シーズのマッチングについて (関東地方整備局 HP へ)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000191.html>

- ・当局のオープンイノベーション推進に係る取組について (関東経済産業局 HP へ)

https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/open_innovation/index.html

(本発表資料のお問合せ先)

関東経済産業局 地域経済部

産業技術革新課長 門田 靖

担当者: 渡邊、荻谷、高崎

電話: 048-600-0237(直通)

FAX: 048-601-1287

E-mail: kanto-oi@meti.go.jp

関東地方整備局 企画部

施工企画課長 岩崎 辰志

担当者: 宮本、柿沼

電話: 048-601-3151 内線 3471-3473

FAX: 048-600-1389

E-mail: ktr-netis@mlit.go.jp

独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部

連携支援部 連携支援課長 林 崇郎

担当者: 打田 電話: 03-5470-1638(直通) FAX: 03-5470-1573

E-mail: kanto-hanro@smrj.go.jp